

# JANOME

第78期 (平成15年4月1日～  
平成15年9月30日)

## 中間事業報告書



スーパーセシオ  
SECIO

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
また、平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。



さて、当社第78期上半期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の営業結果についてご報告申し上げます。

## （1）経営成績

当中間期は、国内需要の鍵を握る設備投資が着実に持ち直しつつあり、米国経済も回復の動きが強まっております。このような背景から、輸出が好調に推移しているうえ、株高が続いて景況感改善傾向にあります。しかしながら、デフレ基調は消えておらず、円高や長期金利の上昇といった懸念材料もあり、先行き不透明感は続いております。

このような状況の下、当グループにおきましては、引き続き収益性向上を目標に、より一層の原価低減と経費の削減を図るとともに、迅速な意思決定のもとで効率的なグループ経営に努めてまいりました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は、期末における急激な円高の影響を受けたものの、ほぼ前年同期並の227億6千1百万円となり、営業利益につきましても、ほぼ前年同期並の18億7千5百万円（前年同期比1.7%減）の計上となりました。また、経常利益では為替差損の減少等により14億7千3百万円（前年同期比8.4%増）の計上となり、中間純利益段階では7億4千7百万円（前年同期比69.1%増）の計上となりました。

単独決算につきましても、当中間期の売上高は196億1千1百万円（前年同期比5.4%減）となり、営業利益は11億7千8百万円（前年同期比13.5%減）となりました。また、経常利益につきましても、14億7千3百万円（前年同期比0.1%増）となり、中間純利益につきましても、9億7千6百万円（前年同期比47.6%増）の計上となりました。

なお、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、中間配当金は無配とさせていただきます。

次に、連結決算につきましても、事業セグメント毎の概況をご報告申し上げます。

### <ミシン関連事業>

海外ミシン販売につきましては、低価格化の波が広がりを見せる中、北米を中心とした刺しゅう・キルトブームの盛り上がりに加え、販売子会社の拡販努力により、米国向け輸出が順調に推移いたしました。

欧州地域においては、通販市場への積極参入やOEM供給等に意欲的に取り組み、好調な結果となりました。また、その他の地域につきましても、積極的な営業活動が実を結び、売上台数が

増加いたしました。

以上の結果、海外販売台数は約77万台（前年同期比9.2%増）と中間期ベースでは過去最高を記録いたしました。

国内ミシン販売のうち、直営支店向け販売につきましては、効率的な支店運営に意を用い、収益体質が改善されつつある中、刺しゅう機能付きコンピュータミシンの拡販に注力いたしました。

代理店向け販売につきましては、市場での低価格化が進む中、代理店向けオリジナル機種の投入や、各種販売促進策を通じて、販売の拡大に努めました。

しかし、これらの営業努力にもかかわらず、消費マインドの冷え込みが厳しく、国内ミシン販売は苦戦を強いられました。

この結果、国内・海外を合わせたミシンの総販売台数は、87万4千台余り（前年同期比6万台増）となり、中間期ベースでは過去最高となりました。

また、東京工場、台湾・ジャノメミシン（株）にタイ・ジャノメ（株）を合わせた三工場のミシン生産台数は、前年同期比6%増の91万台余りに達するなど、生産は順調に推移いたしました。

これらの結果、当中間期のミシン関連事業の売上高は、期末の急激な円高の影響を受けたため、170億6千1百万円（前年同期比2億1千7百万円減）となりました。（当中間期末為替レート@111円25銭、前中間期末為替レート@122円60銭）

#### <24時間風呂・整水器事業>

24時間風呂の販売につきましては、スーパートリプル処理機能によりレジオネラ属菌不検出レベルを達成した、家庭用屋内設置型の新製品「湯名人スーパーCL」を8月より発売いたしました。これに伴い、6年ぶりとなるテレビCMを9月より開始するなど、24時間風呂需要期に向け積極的な営業活動を推進いたしました。

業務用屋外設置型につきましても、大型浴槽を持つ施設等における浴水の安全性に対する関心の高まりを受け、「バス・エース」の拡販に向けた販売活動を展開いたしました。

また、アルカリイオン整水器につきましては、新機種「湧銘水スーパーII」を投入するとともに、販売員向けセミナーを全国で開催し、販売力の強化に努めました。

以上の結果、当中間期の24時間風呂・整水器事業の売上高は、13億6千6百万円（前年同期比5千9百万円増）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業につきましては、「エレクトロプレス」や「卓上ロボット」等の自動化商材を中心に、国内外の展示会に出展して産業機器製品の認知度を高めるとともに、広告宣伝を強力に押し進め、販売ルートの拡大ならびに新規顧客の開拓に努めました。さらに迅速かつ適切なアフターサービスを活動指針として、代理店の育成及び顧客サポートを行なう等、積極的な販売活動を押し進めました。

これらの結果、当中間期の産業機器事業の売上高は、14億6千9百万円（前年同期比5千8百万円増）の計上となりました。

### ＜その他サービス事業＞

連結子会社の事業である電算情報処理サービス、24時間風呂据付サービス等に、当社の不動産賃貸収入を加えたその他サービス事業の売上高は、28億6千3百万円（前年同期比7百万円増）となりました。

### （2）財政状態

当中間期末の総資産は、698億4千1百万円（前期比5億6百万円減）となりました。この減少は、主に借入金の返済に伴う現金及び預金が減少したこと等によるものです。

負債の部では、549億8千3百万円（前期比14億6千6百万円減）となりましたが、この減少は、主に借入金の返済に努めたことによるものです。

また、資本の部は143億6千9百万円（前期比9億1千7百万円増）となりました。

また、当中間期のキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが13億2百万円のプラスとなり、投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出があったこと等から2億8千2百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローは借入金圧縮に伴い25億8百万円のマイナスとなりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は50億7千4百万円となりました。

### （3）今後について

今後につきましては、輸出を中心として経済が緩やかな回復傾向にある一方、円高基調の為替相場等、不透明な要素も依然として払拭できず、先行きは予断を許さない状況にあります。このような状況下、当社グループは各社が持つ営業力・生産技術力・開発力を結集し、より一層の収益性の向上と売上高の拡大を目標として、変化に迅速に対応できる強固な企業体質を確立してまいります。

当社の得意分野である家庭用マシンにつきましては、海外での一層の販売力の強化と、効率的で収益力の高い国内販売体制の確立を目指してまいります。また、他製品につきましても、「ジャノメ」ブランドを浸透すべく、積極的な販売活動に取り組み、シェアアップを図ってまいります。生産・開発面では、市場のニーズに対応した製品開発のスピードアップに努め、高品質・安定供給を第一に考え、国際生産体制の強みを生かしたコストダウンと生産性向上を推し進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 加藤 隆一

# 中間連結財務諸表

## ●中間連結貸借対照表●

(平成15年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	22,265	流動負債	42,414
現金及び預金	5,214	支払手形及び買掛金	4,670
受取手形及び売掛金	7,193	短期借入金	33,766
有価証券	473	未払法人税等	505
たな卸資産	7,882	賞与引当金	749
その他	1,686	その他	2,722
貸倒引当金	△185		
固定資産	47,576	固定負債	12,569
有形固定資産	23,466	長期借入金	3,920
建物及び構築物	4,844	退職給付引当金	3,933
土地	16,386	再評価に係る繰延税金負債	3,933
その他	2,235	その他	782
無形固定資産	596	負債合計	54,983
投資その他の資産	23,513	(少数株主持分)	
投資有価証券	8,171	少数株主持分	488
和議債権等	30,000	(資本の部)	
繰延税金資産	5,148	資本金	7,623
その他	1,349	資本剰余金	1,694
貸倒引当金	△21,156	利益剰余金	972
資産合計	69,841	土地再評価差額金	5,733
		その他有価証券評価差額金	△286
		為替換算調整勘定	△1,366
		自己株式	△1
		資本合計	14,369
		負債、少数株主持分及び資本合計	69,841

# 中間連結財務諸表

## ●中間連結損益計算書●

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

		科 目			金 額	
					百万円	百万円
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		高		22,761
		営業費用	原価	管理費	10,492	20,885
		売販	上及び	一般	10,392	
	営業利益					1,875
営業外損益の部	営業外収益	受取配当	受取	配当	20	
		受取配当	受取	配当	113	
		受取配当	受取	配当	9	
		受取配当	受取	配当	70	213
	営業外費用	支為	外	費用	441	
		支為	外	費用	112	
		支為	外	費用	61	615
						1,473
特別損益の部	特別利益	固定資産売却益	固定	資産	11	
		固定資産売却益	固定	資産	5	16
	特別損失	たな卸資産売却	たな	卸資産	43	
		たな卸資産売却	たな	卸資産	42	
		たな卸資産売却	たな	卸資産	13	98
	税金等調整前中間純利益	税	金等	調整前		1,390
	法人税、住民税及び事業税	法	人税、	住民税		613
	法人税、住民税及び事業税	法	人税、	住民税		△43
	少数株主利益	法	人税、	住民税		72
	中間純利益	法	人税、	住民税		747

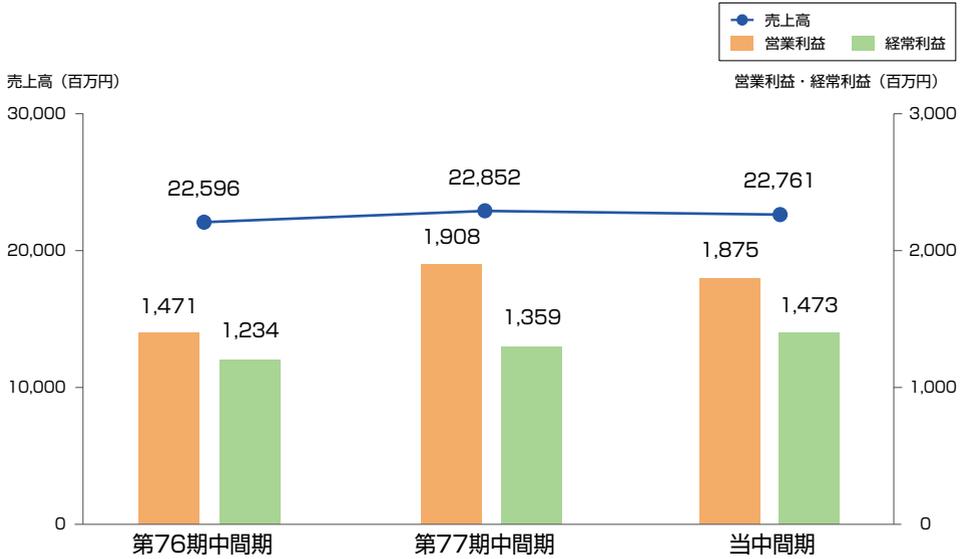
## ●中間連結キャッシュ・フロー計算書●

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

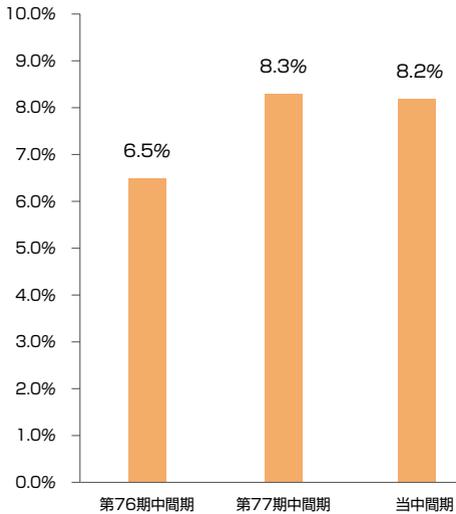
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,302 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,490
現金及び現金同等物の期首残高	6,341
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	222
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,074

## ●中間連結決算概要●

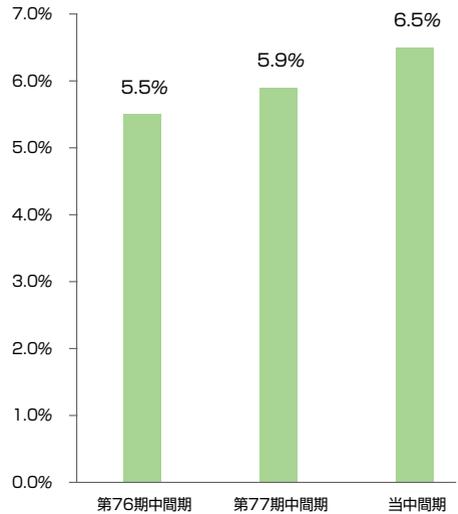
### ●売上高・営業利益・経常利益



### ●売上高営業利益率



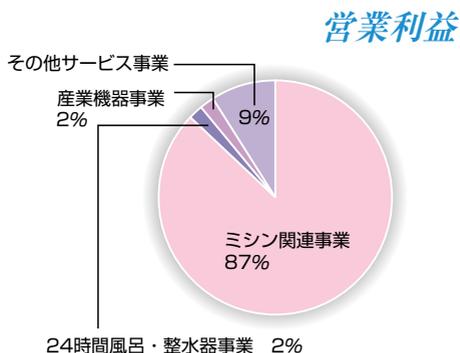
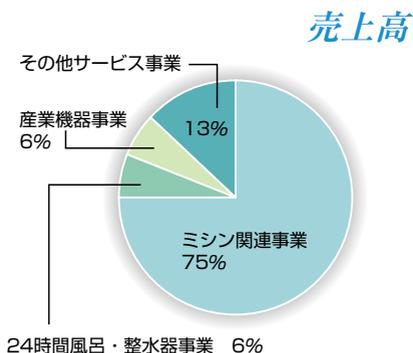
### ●売上高経常利益率



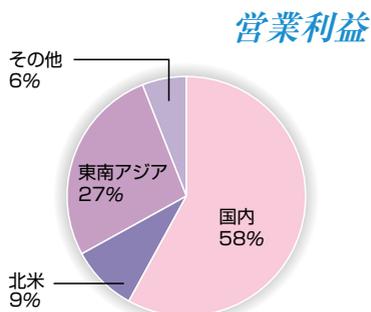
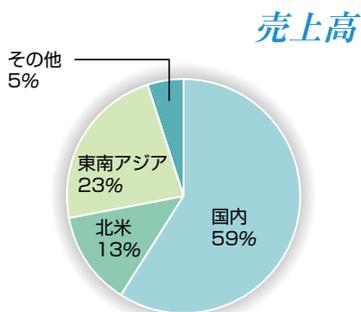
## ●中間連結セグメント情報●

(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

### 事業の種類別セグメント



### 所在地別セグメント



(注) 所在地別セグメントにおける売上高の比率は、セグメント間の内部売上高(又は振替高)を含んだ割合を表示しております。

## ●株式の状況●

(平成15年9月30日現在)

発行する株式の総数	360,000,000株
発行済株式総数	152,460,000株
当中間期末株主数	13,641名

### ●株主構成比率(所有株式数ベース)



# 中間個別財務諸表

## ●中間貸借対照表●

(平成15年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	15,639	流動負債	40,077
現金及び預金	3,823	支払手形	1,466
受取手形	1,001	買掛金	5,113
売掛金	7,081	短期借入金	31,326
たな卸資産	1,860	未払法人税等	215
その他の	1,960	賞与引当金	418
貸倒引当金	△88	その他の	1,537
固定資産	47,207	固定負債	11,352
有形固定資産	20,507	長期借入金	3,710
建物	3,884	再評価に係る繰延税金負債	3,933
土地	15,986	退職給付引当金	2,922
その他	636	その他の	786
無形固定資産	530	負債合計	51,429
投資その他の資産	26,169	(資本の部)	
投資有価証券	7,886	資本金	7,623
子会社株式・出資金	3,163	資本剰余金	1,694
和議債権等	30,000	利益剰余金	△3,350
繰延税金資産	4,817	土地再評価差額金	5,733
その他の	1,459	その他有価証券評価差額金	△282
貸倒引当金	△21,157	自己株式	△1
資産合計	62,847	資本合計	11,417
		負債及び資本合計	62,847

(注) 1.有形固定資産減価償却累計額 11,091百万円  
2.1株当たり中間純利益 6円41銭



# 中間個別財務諸表

## ●中間損益計算書●

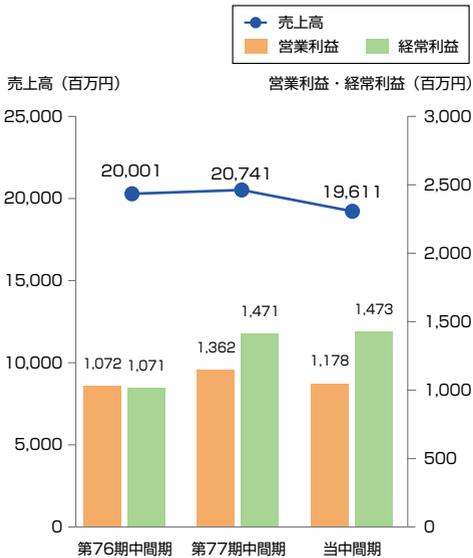
(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

		科 目	金 額	
			百万円	百万円
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		
		売上高		19,611
		営業費用		
	売上原価	12,515		
	販売費及び一般管理費	5,917	18,433	
	営業利益		<b>1,178</b>	
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	13	
		有価証券利息	6	
		受取配当金	848	
雑収入		18	886	
営業外費用	支払利息	399		
	為替差損	170		
	雑損	21	591	
	経常利益		<b>1,473</b>	
特別損益の部	特別利益			
	投資有価証券売却益	5	5	
	特別損失			
	たな卸資産評価損	42		
	固定資産売却及び除却損	35	78	
税引前中間純利益			<b>1,399</b>	
法人税、住民税及び事業税			314	
法人税等調整額			108	
中間純利益			<b>976</b>	
前期繰越損失			4,365	
土地再評価差額金取崩額			38	
中間未処理損失			<b>3,350</b>	

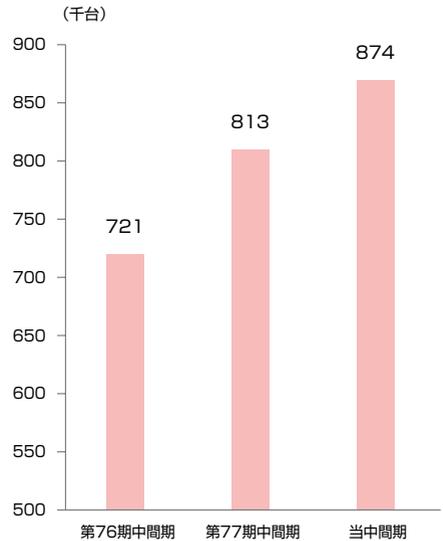
(注) 減価償却実施額 有形固定資産 169百万円  
無形固定資産 13百万円

## ●中間個別決算概要●

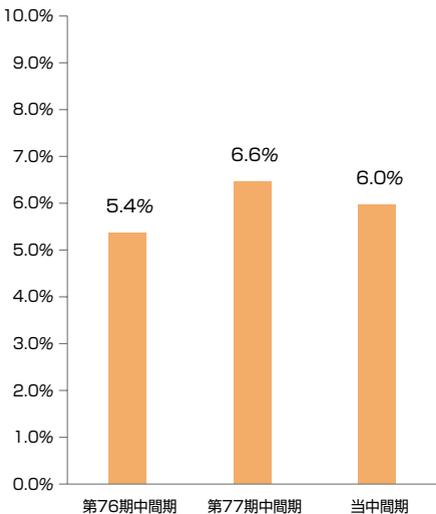
### ●売上高・営業利益・経常利益



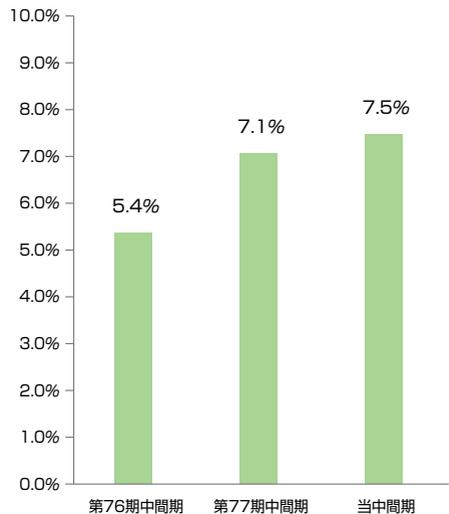
### ●マシン販売台数



### ●売上高営業利益率



### ●売上高経常利益率



# 新商品のご案内

## Magical Sewing!!

私のアイデアを、スイスイかなえてくれる。  
それはそれは、カンタン便利な 魔法のミシン。 ✨



通常ぬい はもちろん、 刺しゅう だってスイスイ。

刺しゅうコンピュータミシン ジャノメ「セシオ9090」誕生!

キルト製作のあらゆるシーンで  
喜びが実感できるミシンの登場です。

## Super Quilt

スーパーキルト



69個の  
キルトステッチ  
内蔵

自動糸切りで  
操作もカンタン

広くて余裕の  
アームスペース

ますます、簡単・充実!キルトセットで  
ソーイングのクオリティを高めます。



新発売

クリーンバスユニット  
**湯名人**  
スーパーCL

業界初  
のスーパー浄化！  
レジオネラ属菌  
不検出レベルを達成！

テレビCM放映中

見やすい、使いやすい。  
誰でもカンタンに使える操作パネル。

いつでもキレイなお湯には秘密がある。  
ジャノメだけの、  
超・強カクリーンバスシステム。  
スーパートリプル処理でさらにパワーアップ。



ユニバーサルデザインを採用した  
押しやすい大型キー

1 ダブルUVパワー

紫外線とオゾン線で、  
24時間休まずに浴水を浄化！

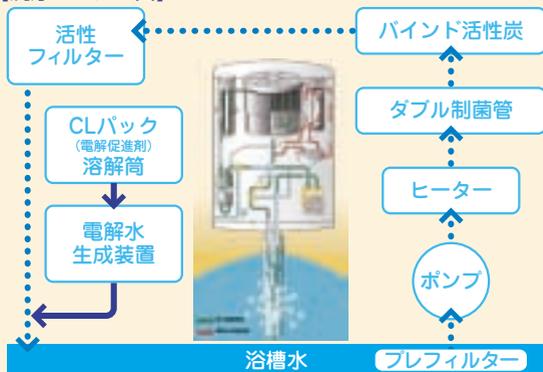
2 スーパー浄化

電解水で、毎日2回、  
自動できっちりと洗浄！

3 新熱洗浄

70℃の熱水と電解水で、  
週に1回ダメ押し自動洗浄！

【洗浄システム図】



# スカラロボット JSシリーズ 新発売

強さと速さ、  
そして賢さを兼ね備えた  
サーボロボットの最新形。



JS 250

ダブルシャフト  
採用

## JSシリーズ

JS 250

JS 350

New Multi Purpose SCARA Robot

### 高機能

簡単ティーチング  
JANOMEオリジナル  
PCソフト  
JR C-Points (※)

### 高速

標準サイクルタイム0.3秒台  
最大速度6300mm/sec  
(JS350の場合)

### 高精度

ダブルシャフト採用に  
より高精度の  
CP駆動を実現

### 高機能

プログラム数：  
255プログラム  
ポイント数  
30,000ポイント



### JR C-Pointsとは

卓上ロボットで定評のある  
ティーチング機能を拡張し、  
高度なロボット言語も使える  
ようになりました。  
ディスベンス・ねじ締め・  
はんだ等、特殊な用途の作  
業を難しいロボット言語を  
知らなくても簡単にティー  
チングできます。  
勿論、複雑な関数・式を使  
ったロボット言語でのプロ  
グラムも可能です。

# TOPICS

## ジャノメダイカストタイ(株) 開工式

去る9月18日、ジャノメダイカスト(株)の子会社であるジャノメダイカストタイ(株)で開工式が行なわれました。

同社は、本年1月に工場が完成し、2月より本格稼働しています。

式典には、当社より加藤社長、渡辺専務取締役ほかの役員が出席し、加藤社長より「新たな生産拠点として、今後の成長を期待しています。」との祝辞が述べられました。



## 新ロゴ登場

新3カ年計画の達成を通じて、世界市場における営業を拡大し、当グループの財務体質を一層強化する会社方針を社内外に明示するため、すでに国際事業部・海外子会社で先行使用していた新しい会社ロゴを全社的に使用することになりました。

新ロゴは、力強さ、信頼、伝統、親しみやプロフェッショナリズムといった意味合いがこめられた分かりやすいデザインになっています。

# JANOME

# 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
基 準 日	3月31日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
( 電話照会先 )	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
( 郵便物送付先 )	電話 03(3323)7111(代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
株式取扱手数料	名義書換……………無料 新券交付……………1枚につき200円 単元未満株式の買取りおよび買増し ……………株式の売買の委託に係る手数料 相当額として別途定める金額
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞
その他連絡場所	東京都中央区京橋三丁目1番1号(〒104-8311) 蛇の目ミシン工業株式会社 総務部総務グループ 電話 03(3277)2071

## ----- お知らせ -----

◎住所変更、単元未満株式買取請求および買増請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120(87)2031 で24時間受付しております。

# ジャンメシン

## 蛇の目ミシン工業株式会社

東京都中央区京橋三丁目1番1号 TEL 03(3277)2071  
ホームページアドレス <http://www.janome.co.jp>

